

社団法人日本セカンドライフ協会
平成23年度 事業計画

平成23年度

(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

平成23年度事業計画概要

<基本方針>

東日本大震災の復興や原子力発電所事故の影響などもあり、平成23年度は一層厳しい経済環境にあり、企業業績の見通しは予断を許さない状況にあります。

このような状況においても、団塊の世代を含む企業退職者の健康と生きがい、仲間作りを目的とする当協会の役割は益々重要になり、対象とするマーケットは拡大しております。

当協会は、会員企業出身の方々により企画・運営されている社団法人であります。今年度も、企業・団体の壁を越えたサラリーマン OB/OG が退職後に楽しめる新しい交流の場作りと、その充実、拡大を図っていきます。

昨年度、成功裏に終了したJASS活動20周年の記念事業を節目に、今年度も、長年培ってきた活動のノウハウを遺憾なく発揮して行きます。

平成23年度の活動目標は以下です。

- ① 会員だより、会員訪問等により会員の皆様に従来以上に JASS 情報をご提供すると共に、当協会の趣旨にご賛同いただける新会員を募ります。
- ② 企画を充実させて、参加者が生き生きと楽しめるイベント及びサークルを充実させ、参加者を増やします。
- ③ 引き続き、業務改善につながるシステム改善を更に進め、参加者の利便性を高めるとともに、運営委員の皆様が活動しやすい環境作りに勤めていきます。

なお、平成20年12月1日に制定された新公益法人制度に対し、平成25年11月30日までに、新制度での法人移行を行う必要があり、当協会は来年の平成24年度の総会で移行方針を決議する事にいたします。今年度は、その準備を行って行きます。

会員の皆様には、サラリーマン OB/OG の活動の場を提供するという当協会の設立趣旨をご理解いただき、引き続き当協会にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 組織運営

(1) 登録会員の状況

平成23年4月1日現在の会員数は94ですが、今年度も引き続き、当協会が企画する多種多様なイベントを未加入企業や会員企業の OB に提供し、新会員の獲得と、既存会員の利用者増加を進めてまいります。

(2) 運営委員会の状況(4月1日現在)

イベント・サークルの企画、実施は会員企業からご推薦いただいた運営委員と世話役の合計174名で行っており、その内訳は現時点で次のとおりです。

a. 運営委員

関東地区運営委員会	46名
中部地区運営委員会	8名
関西地区運営委員会	32名
	合計 86名

b. 世話役

関東地区世話役	49名
中部地区世話役	4名
関西地区世話役	35名
	合計 88名

これら企画・実施者の大半は経験の豊かなベテランであり、そのボランティア精神とご努力によりイベントとサークルは年々内容が充実しております。

当協会は有能な企画・実施者が事業を支えており、引き続き会員の皆様からも運営委員を推薦いただくよう一層のご協力をお願いする次第です。

2. 事業活動

(1) イベント事業

退職者の増加と高齢化が進む中で、「サラリーマンOB／OGの生き甲斐づくりの支援と、明るく活力ある長寿社会の実現へ寄与する」という当協会の理念は益々重要になってきております。

JASSらしい付加価値のある独自のイベントを中心として、低費用で内容の充実したイベント・サークルの開催回数の増加を図るとともに、参加者の増加に向けて努力してまいります。また、新たに委嘱する運営委員には十分な研修を行ってイベント企画の充実を図ります。

(2) 機関誌事業

当協会は、機関誌「JASS ネット」を年4回発行して、イベント・サークルの情報を掲載し併せて当協会のPRを行なっております。機関誌発行のリードタイム短縮も実現できましたので、より一層の新鮮な企画を反映するように致します。

(3) 利便性の向上

当協会のホームページは、非常に多くの方から利用されるようになり、イベントの参加者や運営委員、世話役の皆様からのホームページ掲載記事の投稿が増大しにぎわいを見せています。引き続き、内容を充実させ、タイムリーに情報を発信することで、利用者の利便性を一層向上させて行きます。

以上